

「令和6年度 旧上瀬谷通信施設周辺における新たな交通基本設計委託」
受託候補者特定に係る実施要領

(趣旨)

第1条 「令和6年度 旧上瀬谷通信施設周辺における新たな交通基本設計委託」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「取扱要綱」という。）及び横浜市委託に関するプロポーザル方式運用基準に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは、別に定める。

- (1) 業務実績
- (2) 当該業務の実施方針（業務実施体制、予定技術者の経歴等）
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) ワークライフバランス等、企業としての取組
- (5) その他当該業務に必要な事項

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 業務実績等
 - (2) 業務実施方針の妥当性・実現性等
 - (3) 提案内容の独創性・実現性等
 - (4) その他、当該業務に対する意欲等
- 2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。
- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。
- 4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウェイト並びに評価基準の確認
- (3) 評価の集計及び報告
- (4) ヒアリング

2 評価委員会には委員長、副委員長及び委員を置き、次のとおりとする。

委員長	都市整備局	総務部長
副委員長	都市整備局	市街地整備部長
委員	都市整備局	上瀬谷交通整備担当部長
	道路局	計画調整部長
	道路局	建設部長
	都市整備局	上瀬谷交通整備課長
	都市整備局	市街地整備調整課長

上記委員は、令和6年3月31日までとする。令和6年4月1日以降の委員については、3月31日までの機構改革前の所属・役職に相当する機構改革後の所属・役職に引き継がれるものとする。

- 3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。
- 4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席をもって成立する。
- 5 評価委員会を欠席した評価委員の評価は、採点に含めないこととする。
- 6 評価が同点となった場合、上位者を決定させるために、技術提案書評価基準の評価事項のうち、以下の項目順で点数比較を行う。なお、上位者が決まった段階で、それ以下の項目での比較は行わない。
 - (1) 業務実施方針・提案内容
 - (2) 業務実施体制
 - (3) その他
 - (4) 企業としての取組
- 7 委員長は、評価結果を都市整備局入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。
- 8 評価委員会は、非公開とする。

(評価結果の審査)

第6条 都市整備局入札参加資格審査・指名業者選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由

(5) その他必要な事項

附 則

この要領は、令和6年 2月 2日から施行する。